

コートジボワール1中高等学校における思春期学生の 性に関する知識・行動・意識

コバヤシ 小林みどり* 47カミ ヨシタカ 村上 義孝^{2*} ヨシドメ アツコ 吉留 厚子^{3*}

目的 コートジボワールの思春期の学生を対象に、性教育実施の基礎資料作成を目的とした性に関する知識・行動・意識に関する調査を実施した。

方法 コートジボワールの1中・高校生男女2,097人を対象に自記式調査票による調査を実施した。調査項目は、対象の属性、性に関する知識、初体験を含む性行動、性の主体性など性意識を問う設問（女子21問、男子20問）である。各項目について男女別に集計し、性に関する知識の項目については男女間の比較を、避妊行動については学年間の比較を、また性に対する主体性と避妊行動との関連についても検討した。

成績 有効回収数は695人（男子278人、女子417人）、回収割合は33.1%であった。初体験をした対象者の割合は男子84.2%、女子46.5%、初体験の平均年齢は男子14.3歳、女子15.6歳であった。避妊の実施割合は男子49.6%、女子46.9%であった。性に関する知識は低学年においては女子より男子の方が高いものの、高学年ではその差が縮小する傾向がみられた。避妊の実施割合は学年があがるにつれ上昇した。性に関する主体性が高い群では避妊する傾向があることが示唆された。

結論 コートジボワールの1中・高校を対象にした性に関する知識・行動・意識の実態に関する調査の結果、男子の8割以上、女子の約半数に性体験があり、性に関する知識の男女差は学年があがるにつれ減少し、性に関する主体性が高い生徒において避妊する割合が高くなる傾向が示された。

Key words : コートジボワールにおける性, 思春期, 性行動, 性意識

I はじめに

コートジボワールは人口約1,400万、面積約37.8万平方メートル（日本の0.9倍）のアフリカ西部に位置する国である。

現在コートジボワールの若年層の大きな健康問題の1つに、若年女性における妊娠がある。USAIDS/WHO 疫学報告¹⁾によると、コートジボワールの15～17歳の女性における母親および初産をひかえた妊婦の割合は22.5%（調査年次：1994年）であり、先進国と比較すると成人前の妊娠経

験者の割合は多い。若年者の妊娠は「望まない妊娠」が多く²⁻⁴⁾中絶する割合も高いことが知られており、出産時において低出生体重児の出生頻度が高い、ハイリスク妊娠になりやすいなどの問題も指摘されている⁶⁾。また社会的には学業の中断（退学）や就学機会の減少を引き起こすなど問題が多い。若年者の「望まない妊娠」を予防するには、思春期における適切な性教育が必要である。コートジボワールの女性初体験の平均年齢は約15.8歳（調査年次：1994年）¹⁾、避妊法の普及率は15%（同統計日本59%）⁶⁾という報告もあり、避妊法の普及を骨子とした、初体験前の早期の性教育が急務である。

コートジボワールの一地域の中・高等学校において、1996年多数の女子生徒の「望まない妊娠」による退学者（13人、平均年齢13歳）が発生した。この事件をうけ「望まない妊娠」の再発防止を目

* 国際協力事業団シニア隊員

^{2*} 大分県立看護科学大学健康情報科学

^{3*} 大分県立看護科学大学母性看護・助産学

連絡先：〒870-1201 大分県大分郡津原町廻瀬野
2944-9 大分県立看護科学大学母性看護・助産学
吉留厚子

的とした性教育の実施を学校長より依頼された。本報告は、コートジボワールにおいて中高生の性教育を実施するための資料として、思春期学生の性に関する知識・行動・意識を調査したものである。

II 方法

調査は1998年、コートジボワールの南東部に位置する Sikensi の中高等学校2,097人（男子1,344人、女子753人）を対象に、学校長の許可のもと、作成した調査票を学校に持参、学校の教師の指示のもと、授業時間内に配布・回収する方法で実施した。調査項目は対象者の学年、性、年齢、宗教、部族（付録：項目1-5）、性に関する知識（付録：項目6-9）、初体験の年齢（性体験者に対しては避妊の有無と方法）（付録：項目10-12）、避妊に関する項目（付録：項目13-15）、中絶体験の有無（付録：項目16）、性的パートナーの有無と人数、（付録：項目17,18）「自分自身の性に関する主体性」に関する項目（女性：項目19-21、男性：項目19-20）であり、コートジボワールの公用語であるフランス語で書かれている。付録に調査で使用した調査票の日本語翻訳版を示す。

収集されたデータは、調査項目ごとに男女別に集計した。また性に関する知識については男女間での相違を、避妊行動については学年間での相違を、自分自身の性に関する主体性については避妊行動との関連を検討した。

なおコートジボワールでは学年は6から0の7段階あり、数の小さい方が高学年である。0, 1, 2年は Lycée（日本でいう高校）、3, 4, 5, 6年は Collège（日本でいう中学校）という呼称の区分があり、一部の学生が Collège から Lycée に進学する。このため本研究では学年に関し、0, 1, 2年を高学年、3, 4, 5, 6年を低学年とした。すべての解析は統計パッケージ SAS6.12⁷⁾により実施した。

III 結果

有効回収数は695人（男子278人、女子417人）で回収率は33.1%であった。表1に有効回収された対象の基本属性を示す。有効回収された対象の平均年齢は男子17.7歳（標準偏差2.1）、女子16.1歳（標準偏差2.0）とほぼ等しいが、図1の学年

表1 調査回答者の属性

	男子		女子	
	人数	%	人数	%
学年				
0	42	15.1	9	2.2
1	23	8.3	6	1.4
2	37	13.3	12	2.9
3	101	36.3	65	15.6
4	41	14.8	122	29.3
5	15	5.4	126	30.2
6	19	6.8	77	18.5
合計	278	100.0	417	100.0
年齢				
平均（歳）	17.7		16.1	
標準偏差（歳）	2.1		2.0	
宗教				
カトリック	104	37.4	228	54.7
プロテスタント	61	21.9	60	14.4
イスラム	34	12.2	22	5.3
その他	68	24.5	100	24.0
不明	11		7	
部族				
ジュラ	25	9.0	25	6.0
アビシー	128	46.0	227	54.4
パウレ	28	10.1	48	11.5
その他	95	34.2	113	27.1
不明	2		4	

注意：コートジボワールでは数が小さいほど高学年となる。

0,1,2 Lycée(日本の高校)、3,4,5,6 Collège(日本の中学校)に相当

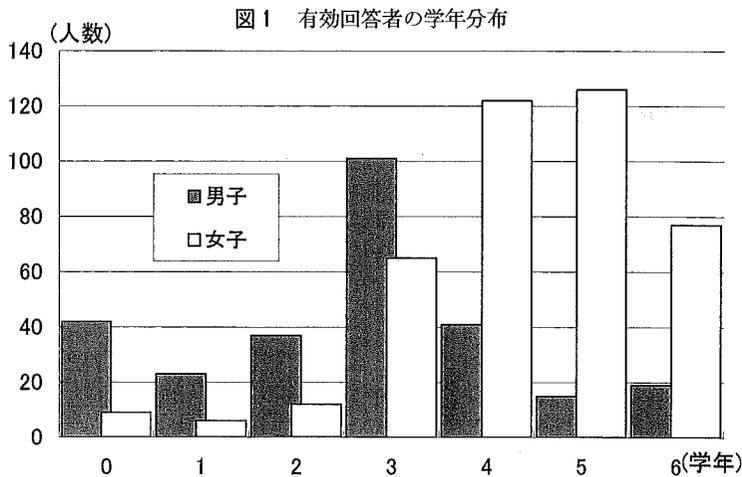
分布、および最頻値（男子：3年、女子：5年）でみると、男子は女子より学年が高かった。宗教はカトリックが多く、ついでプロテスタント、イスラムの順、部族はアビシー族が約半数で、その他パウレ族、ジュラ族の順であった。表2-1, 2に性に関する知識・行動・意識に関する結果を男女別に示す。主な結果として、初体験をした割合は男子84.2%（234人）、女子46.5%（194人）で男子の割合が高かった。図2に初体験の年齢分布を示す。初体験の平均年齢は男子14.3歳（標準偏差2.3）、女子15.6歳（標準偏差1.5）で最小年齢は男子8歳、女子9歳であった。避妊の有無については、性体験のある男子の49.6%（116人）、女子の46.9%（91人）が、はいと回答した。また避妊方法は約6割がコンドームであった。中絶の経験のある男子は5.8%（16人）、女子4.6%（19人）であった。現在、性的パートナーのいる学生は男子64.4%（179人）、女子46.5%（194人）であった。

付録 本研究で使用した調査票調査項目 (原文フランス語)

-
- 1 学年 () 学年
- 2 性別 ①男 ②女
- 3 年齢 () 歳
- 4 宗教 ①カトリック ②プロテスタント ③イスラム ④その他
- 5 部族 ①ジュラ ②アビジー ③パウレ ④その他
- 6 どうして女性が妊娠できるかを知っていますか。
①はい ②だいたい ③少し ④いいえ
- 7 受精の意味を知っていますか。
①はい ②いいえ ③知らない
- 8 受精なしで女性は妊娠することが可能ですか。
①はい ②いいえ ③知らない
- 9 初潮前に妊娠することは可能ですか。
①はい ②いいえ ③知らない
- 10 セックスの初体験は何歳の時ですか。() 歳
- 11 避妊をしていますか。①はい ②ときどき ③いいえ
- 12 「はい」、「ときどき」と答えた方にお聞きします。
避妊はどのような方法をとっていますか。
①コンドーム ②ピル ③その他
- 13 避妊とは何かを知っていますか。
①はい ②だいたい ③少し ④いいえ
- 14 セックスのあとに外性器を洗ったり、陰洗浄を行うことによって妊娠することを防ぐことができますか。
①はい ②たぶん ③いいえ ④知らない
- 15 腰に巻いているビーズ、祈ること、ごくたまに行うセックスは妊娠を防ぐことができますか。
①はい ②たぶん ③いいえ ④知らない
- 16 中絶の経験がありますか。
①はい ②いいえ ③知らない
- 17 セックスの関係にあるボーイフレンド(ガールフレンド)がいますか。
①はい ②いいえ
- 18 「はい」と答えた方にお聞きします。何人いますか。
①1人 ②2人 ③3人 ④4人以上
- 19 <女性のみ> もし彼があなたを求めたら、あなたはその気がなくても、彼を受け入れなければならないと思いますか。
①はい ②いいえ ③わからない
- <男性のみ> もしあなたが彼女を求めたら、彼女のその気がなくても、彼女はあなたを受け入れるべきだと思いますか。
①はい ②いいえ ③わからない
- 20 <女性のみ> もし彼が避妊を拒否しても、セックスしますか。
①はい ②たぶん ③いいえ ④わからない
- <男性のみ> もし彼女があなたに避妊することを要求したら、あなたは受け入れますか。
①はい ②たぶん ③いいえ ④わからない
- 21 <女性のみ> あなたは彼に、コンドームをつけてほしいときちんと言うことができますか。
①はい ②たぶん ③いいえ ④わからない
-

表2-1 性に関する知識・行動・意識 (その1)

		男子		女子	
		人数	%	人数	%
どうして女性は妊娠できるか知っていますか。	はい	181	65.1	189	45.3
	だいたい	32	11.5	29	7.0
	少し	31	11.2	40	9.6
	いいえ	31	11.2	147	35.3
	不明	3		12	
受精の意味を知っていますか。	はい	201	72.3	188	45.1
	いいえ	36	12.9	134	32.1
	知らない	33	11.9	78	18.7
	不明	8		17	
受精なしで妊娠しますか。	はい	21	7.6	42	10.1
	いいえ	187	67.3	248	59.5
	知らない	56	20.1	118	28.3
	不明	14		9	
初潮前に妊娠しますか。	はい	27	9.7	20	4.8
	いいえ	174	62.6	272	65.2
	知らない	63	22.7	118	28.3
	不明	14		7	
初体験は何歳ですか。	あり	234	84.2	194	46.5
	なし	44	15.8	223	53.5
	平均(歳)	14.3		15.6	
	標準偏差(歳)	2.3		1.5	
	(初体験とした人を対象) 避妊をしていますか。	はい	116	49.6	91
	時々	55	23.5	44	22.7
	いいえ	51	21.8	50	25.8
	不明	12		9	
避妊方法は何ですか。	コンドーム	160	68.4	113	58.2
	ピル	2	0.9	9	4.6
	その他	6	2.6	4	2.1
	不明	66		68	



注：学年：数が小さい方が高学年
 0,1,2 : lycée (日本の高校)
 3,4,5,6: Collège(日本の中学校)に相当

表2-2 性に関する知識・行動・意識 (その2)

		男子		女子	
		人数	%	人数	%
避妊とは何か知っていますか。	はい	158	56.8	124	29.7
	だいたい	34	12.2	21	5.0
	少し	33	11.9	48	11.5
	いいえ	52	18.7	203	48.7
	不明	1		21	
外性器を洗ったり、膣洗浄により妊娠は防止できますか。	はい	46	16.5	23	5.5
	多分	60	21.6	45	10.8
	いいえ	68	24.5	86	20.6
	知らない	93	33.5	248	59.5
	不明	11		15	
腰に巻いているビーズ、祈ること、ごくたまに行うセックスは妊娠を防ぎますか。	はい	30	10.8	23	5.5
	多分	42	15.1	43	10.3
	いいえ	105	37.8	82	19.7
	知らない	93	33.5	237	56.8
	不明	8		32	
中絶の経験はありますか。	はい	16	5.8	19	4.6
	いいえ	183	65.8	359	86.1
	知らない	13	4.7	23	5.5
	不明	66		16	
セックスの関係にある異性はいますか。	はい	179	64.4	194	46.5
	いいえ	86	30.9	211	50.6
	不明	13		12	
何人いますか。	1人	96	53.6	160	82.5
	2人	36	20.1	12	6.2
	3人	11	6.1	2	1.0
	4人以上	28	15.6	5	2.6
	不明	8		15	
女性) もし彼があなたを求めたら、あなたにその気がなくても彼を受け入れなければならないと思いますか。	はい	38	13.7	18	4.3
	いいえ	172	61.9	252	60.4
男性) もしあなたが彼女を求めたら、彼女にその気がなくても彼女はあなたを受け入れなければならないと思いますか。	わからない	51	18.3	114	27.3
	不明	17		33	
女性) もし彼が避妊を拒否しても、セックスをしますか。	はい			25	6.0
	多分			67	16.1
	いいえ			187	44.8
	わからない			106	25.4
	不明			32	
男性) もし彼女があなたに避妊することを要求したら、あなたは受け入れますか。	はい	195	70.1		
	多分	25	9.0		
	いいえ	23	8.3		
	わからない	23	8.3		
	不明	12			
女性) あなたは彼に、コンドームをつけてほしいと、きちんと言うことができますか。	はい			271	65.0
	多分			24	5.8
	いいえ			14	3.4
	わからない			72	17.3
	不明			36	

性的パートナーの数は両性とも1人が多いものの
(男子53.6% (96人), 女子82.5% (160人)), 複数

の性的パートナーが存在する男子は41.8% (75
人), 女子は9.8% (19人) で男子に高い傾向がみ

表3 男女別にみた性に関する知識

			はい	だいたい	少し	いいえ	不明	合計
どうして女性は妊娠できるか知っていますか。	低学年	男子	106	20	26	23	1	176
			60.2	11.4	14.8	13.1		
		女子	170	26	39	143	12	390
			43.6	6.7	10.0	36.7		
	高学年	男子	75	12	5	8	2	102
			73.5	11.8	4.9	7.8		
	女子	19	3	1	4	0	27	
		70.4	11.1	3.7	14.8			
避妊とは何か知っていますか。	低学年	男子	85	20	24	47	0	176
			48.3	11.4	13.6	26.7		
		女子	102	18	46	203	21	390
			26.2	4.6	11.8	52.1		
	高学年	男子	73	14	9	5	1	102
			71.6	13.7	8.8	4.9		
	女子	22	3	2	0	0	27	
		81.5	11.1	7.4	0.0			

			はい	いいえ	知らない	不明	合計
受精の意味を知っていますか。	低学年	男子	116	31	23	6	176
			65.9	17.6	13.1		
		女子	164	131	78	17	390
			42.1	33.6	20.0		
	高学年	男子	85	5	10	2	102
			83.3	4.9	9.8		
	女子	24	3	0	0	27	
		88.9	11.1	0.0			
受精なしで女性は妊娠することは可能ですか。	低学年	男子	15	110	42	9	176
			8.5	62.5	23.9		
		女性	37	229	116	8	390
			9.5	58.7	29.7		
	高学年	男子	6	77	14	5	102
			5.9	75.5	13.7		
	女子	5	19	2	1	27	
		18.5	70.4	7.4			
初潮前に妊娠することは可能ですか。	低学年	男子	14	109	49	4	176
			8.0	61.9	27.8		
		女子	19	251	114	6	390
			4.9	64.4	29.2		
	高学年	男子	13	65	14	10	102
			12.7	63.7	13.7		
	女子	1	21	4	1	27	
		3.7	77.8	14.8			

表中、上段は人数、下段は%を示す。

注意：コートジボワールでは数が小さいほど高学年となる。

高学年：0,1,2 Lycée(日本の高校)，

低学年：3,4,5,6 Collège(日本の中学校)に相当

られた。

表3に性に関する知識の男女間の相違を学年ごと示す。「どうして女子は妊娠できるのか知っ

ているか」の質問について、はいと回答した対象者は、低学年では男子60.2%、女子43.6%と、男子の方が高い傾向がみられた。一方、高学年では

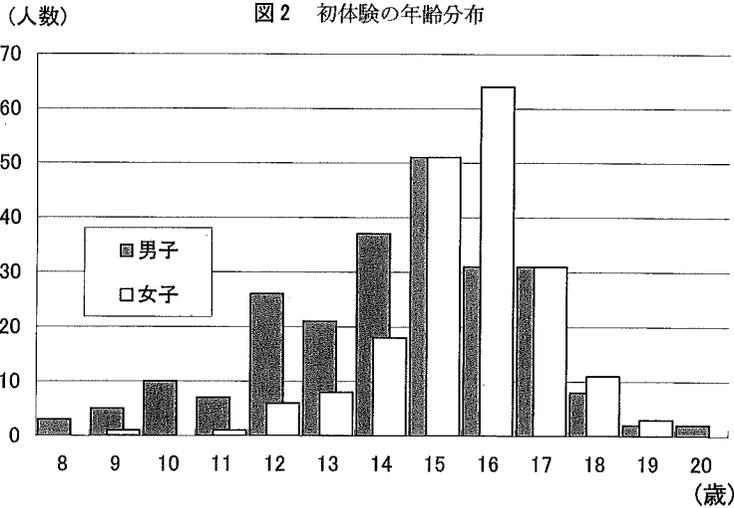


表4 学年間の避妊の実施割合

		避妊の有無				合計
		はい	時々	いいえ	不明	
男子	低学年	70	33	34	8	145
		48.3	22.8	23.4		
高学年	低学年	46	22	17	4	89
		51.7	24.7	19.1		
女子	低学年	82	40	48	8	178
		46.1	22.5	27.0		
高学年	低学年	9	4	2	1	16
		56.3	25.0	12.5		

表中、上段は人数、下段は%を示す。
 注意：コートジボワールでは数が小さいほど高学年となる。
 高学年：0,1,2 Lycée(日本の高校),
 低学年：3,4,5,6 Collège(日本の中学校)に相当

男子73.5%，女子70.4%と、低学年と比べ、両性ともに割合が増加、男女間の差も小さくなる傾向がみられた。低学年では男子の割合が女子と比較して高いが、高学年ではその差が縮まる項目として「受精の意味を知っていますか」、「初潮前に妊娠することは可能ですか」、「避妊とは何か知っていますか」があった。「受精なしで女性は妊娠することは可能ですか」では、低学年でも高学年でも男子が女子より理解している割合が高かった。また「受精なしで妊娠することが可能」と考えている女子が高学年で18.5%存在した（低学年女子では9.5%）。表4に学年ごとの避妊の実施割合を

示す。初体験をした対象で避妊をする対象者は、男子では低学年48.3%（70人）、高学年51.7%（46人）、女子では低学年46.1%（82人）、高学年56.3%（9人）であった。「避妊しているか」との間に、はい、ときどきと回答した対象者の割合でみると、男子では低学年、高学年での割合はそれほど変わらないが、女子では若干の増加傾向がみられた。

「性に関する自分自身の主体性」の項目と避妊行動との関連について検討した結果を表5に示す。女子において、「その気がなくても彼を受け入れるか」との間に、はいと回答した対象で避妊割合が33.3%（5人）であるのに対し、いいえと回答した対象での避妊割合が49.3%（67人）と高く、「避妊を拒否してもセックスするか」との間に、はいと回答した群での避妊割合が29.4%（5人）に対し、いいえでは56.6%（56人）、「コンドームをつけてほしいときちんと言いうことができるか」との間に、いいえと回答した群の避妊割合が0%（0人）なのに対し、はいでは53.5%（83人）と、いずれも性に対する主体性が高い回答群で、避妊割合の高い傾向がみられた。また同様の傾向は男子にもみられた。

IV 考 察

本報告はコートジボワールの1中高等学校における思春期学生の性に関する知識・行動・意識の実態を調査したものである。回収率は男子

表5 性に関する主体性と避妊行動の関連

		避妊の有無				合計
		はい	いいえ	わからない	不明	
その気がなくても彼を受け入れるか。 (女性のみ)	はい	5	3	6	1	15
		33.3	20.0	40.0		
	いいえ	67	35	27	7	136
		49.3	25.7	19.9		
その気がなくても彼女を受け入れるべきか。 (男性のみ)	わからない	15	6	13	1	35
		42.9	17.1	37.1		NA : 8
	はい	5	2	9	1	17
		29.4	11.8	52.9		
避妊を拒否してもセックスするか。(女性のみ)	多分	19	16	6	1	42
		45.2	38.1	14.3		
	いいえ	56	16	21	6	99
		56.6	16.2	21.2		
その気がなくても彼を受け入れるか。 (女性のみ)	わからない	8	9	11	0	28
		28.6	32.1	39.3		NA : 8
	はい	83	35	30	7	155
		53.5	22.6	19.4		
コンドームをつけてほしいときちんと言ふことはできるか。(女性のみ)	多分	3	3	4	1	11
		27.3	27.3	36.4		
	いいえ	0	3	5	0	8
		0.0	37.5	62.5		
その気がなくても彼女は受け入れるべきか。 (男性のみ)	わからない	4	1	8	0	13
		30.8	7.7	61.5		NA : 7
	はい	13	8	11	4	36
		36.1	22.2	30.6		
その気がなくても彼女を受け入れるべきか。 (男性のみ)	いいえ	81	35	27	6	149
		54.4	23.5	18.1		
	わからない	15	11	10	1	37
		40.5	29.7	27.0		NA : 12
避妊を要求されたら受け入れるか。(男性のみ)	はい	97	40	25	5	167
		58.1	24.0	15.0		
	多分	4	9	9	1	23
		17.4	39.1	39.1		
避妊を要求されたら受け入れるか。(男性のみ)	いいえ	5	2	9	3	19
		26.3	10.5	47.4		
	わからない	5	4	5	2	16
		31.3	25.0	31.3		NA : 9

表中、上段は人数、下段は%を示す。

NA : 欠損値

20.7%、女子55.4%と男子で低く、無回答者の属性や理由も不明である。これより本研究の結果は限定された対象の結果として解釈する必要がある。本研究は、性教育の早期実施の必要性から急いで実施した調査がもととなっており、性の知識を問う設問が簡略であったり、授業内に調査票の配布回収を行うなど調査方法に問題が存在する。

以上の点は本研究の結果を解釈する際、十分配慮する必要がある。青少年の性意識・性行動に関する調査・研究は日本国内、国外を問わず実施されており⁸⁻¹¹⁾、本報告もその中の1つにあたる。本報告は特に報告数の少ないアフリカ地域での1実態を示したものであり、資料として意義があると考えられる。

本研究より、性体験をした生徒は男子で8割以上(平均年齢14.3歳)、女子で約半数(平均年齢15.6歳)であることが示された。これはUSAIDS/WHO疫学レポート¹⁾に示されたコートジボワール女性の初体験の平均年齢とほぼ等しい。一方、性体験者における避妊割合は男子50%、女子47%、「ときどき避妊している」を含めると男子73%、女子70%となるのに対し、ユニセフ世界子供白書⁶⁾では避妊普及率は12%と、かなりの差がみられる。これは調査年度や調査対象者の違い、つまり本報告の調査対象が思春期の学生であるのに対し、ユニセフ世界子供白書は成人を含めた結果であるためと思われるが、対象者が回答する際にバイアスが生じたという可能性も否定できない。バイアスに関する議論は難しいものの、本結果を解釈する際に考慮に入れる必要があろう。

本報告では性に関する知識、避妊行動について、学年との関連を検討した。学年との関連に焦点を当てたのは、教育水準と性に関する知識、避妊行動は関連がある¹²⁾と考えたためである。結果として低学年では男子が女子より性知識のある者の割合が高いものの、高学年ではその差が縮まっている傾向がみられた。コートジボワールでは女子の初等教育就学率は男子に比し低く、中等教育就学率に至っては男子の約半分である⁶⁾。コートジボワールにおいて成人識字率が男子では49%であるのに対し女子は31%と低い⁶⁾のは初等就学率の差の表れといえる。識字率の向上により印刷物による正しい性知識が獲得できるなどの効果を考えると、女子の中等教育就学率の向上が性認識の変容の点からも求められよう。

「性に関する自分自身の主体性」と避妊行動との関連は、主体性の高い学生において避妊する割合が高い傾向がみられた。女性が性的に自立し、主体的な意志決定ができるよう、また男性もパートナーである女性の性や生き方を尊重し、二人で幸せな満足のいく意志決定がなされることが望ましい¹³⁾といわれている。自分自身の性に関する主体性をいかに形成するかが、避妊を含めた性行動を変容させる、大きなポイントになると思われる。思春期に多くの学生が性体験をするコートジボワールでは、若年からの性に関する正しい知識の普及が必須である。特に低学年女子での知識の

普及が強く求められよう。また避妊行動の推進が必要であり、推進力の一つとして性に関する主体性の確立がある。以上の点に留意しながら性教育をすすめる必要がある。

本報告をまとめるにあたり、調査に協力していただいたコートジボワールの学生、ならびに教職員のみなさまに感謝いたします。

(受付 2000. 5. 8)
(採用 2000.12.25)

文 献

- 1) UNAIDS and WHO. Epidemiological fact sheet on HIV/AIDS and sexually transmitted diseases: Cote d'Ivoire. Geneva: WHO, 1998; 2-12.
- 2) Davis AJ. The role of hormonal contraception in adolescents. *Am J Obstet Gynecol* 1994; 170: 1581-1585.
- 3) Skannal DG, Hillard PJA. Teen pregnancy and contraception. edited by Wallis LA. et al. *Textbook of Women's Health*. Philadelphia: Lippincott-Raven Publishers, 1998; 639-646.
- 4) 尾島信夫. 日本語版監修. 新臨床看護学大系. 母性看護学 I. 東京: 医学書院, 1984; 51-53.
- 5) 渡利英道, 藤本俊郎, 藤木祐子, 他. 若年妊娠の産科学的問題点. *産婦人科の世界* 1996; 48: 39-45.
- 6) ユニセフ (国連児童基金). 2000年世界子供白書. 東京: ユニセフ駐日事務所, 1999; 108.
- 7) SAS Institute Inc. SAS/STAT Software: User's Guide. Release 6. 12. Cary, North Carolina: SAS Institute Inc, 1994.
- 8) 財団法人性教育協会. 10代の性をめぐる世界の動向. *現代性教育研究月報* 2000; 18(3): 1-5.
- 9) 片瀬一男. 青少年の性行動はどう変わったのか—第5回「青少年の性行動調査」より—. *現代性教育研究月報* 2000; 18(7): 1-4.
- 10) Matsuura K, Iida Y, Gould JB. Knowledge, attitude and practice on HIV/AIDS among university students in central Java, Indonesia. *思春期学* 1997; 15: 409-419.
- 11) 山本太郎, 門司和彦. タイにおける HIV/AIDS 流行の現状. 行動疫学調査と血清疫学調査の連携の重要性. *日本公衛誌* 1998; 45: 463-468.
- 12) 世界銀行編著. 喜多悦子, 西川潤一, 訳. *経済開発とエイズ*. 東京: 東洋経済新報社, 1999; 120-127.
- 13) 松本清一, 高村寿子, 笹沼時子, 他. 性の自己決定能力を育てるピアカウンセリング. 東京: 小学館, 1999; 22.

KNOWLEDGE, BEHAVIOR, AND ATTITUDES TOWARD SEX AMONG ADOLESCENT STUDENTS AT A JUNIOR/HIGH SCHOOL IN COTE D'IVOIRE

Midori KOBAYASHI*, Yoshitaka MURAKAMI^{2*}, Atuko YOSHIDOME^{3*}

Key words: Cote d'Ivoire, Adolescence, Sexual behavior, Contraception, Sexual attitudes

Objectives To be able to provide appropriate information about sex to adolescent students in the Cote D'Ivoire, we conducted a study to determine knowledge, behavior, and attitudes toward sex.

Methods We conducted a cross-sectional study at a junior/high school using a self-administered questionnaire which contained students' characteristics (age, sex, grade, tribe, region), their knowledge about sex, sexual behavior (including experience of sex and contraception), and attitudes toward sex. Knowledge about sex and proportions employing contraception were compared between males and females and between the lower and the upper grades. We also examined associations between attitudes toward sex and contraception.

Results A total of 695 (males: 278, females: 417) students filled in our questionnaire (response rate: 33.1%). The proportion of the students who had experienced sex was 84.2% for males, 46.5% for females, and the average age of the first sex was 14.3 and 15.6 years in males and females, respectively the proportions using contraception was 49.6% and 46.9%. In students of the lower grades, males had greater knowledge than females, but this difference was reduced with progression through the upper grades. The proportion using contraception in the upper grades was also higher and an association between attitude toward sex and contraception was clear.

Conclusion Adolescent students' knowledge, behavior, and attitudes toward sex could be relatively easily investigated at a junior/high school of Cote D'Ivoire. The majority of males and half of the females in this setting already had experience of sexual intercourse. The study showed that difference in sexual knowledge between males and females shrunk with increase in school grade. We also showed an association between attitude toward sex and contraception.

* Senior member, JICA

^{2*} Division of Health Informatics and Biostatistics, Oita University of Nursing and Health Sciences

^{3*} Division of Maternal Nursing and Midwifery, Oita University of Nursing and Health Sciences